

Beyond Limits. Unlock Our Potential.

世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画

ひょうご神戸スタートアップ・エコシステム コンソーシアムの取り組み



1. エコシステム形成推進全体
2. 自治体の取組
3. 民間の取組
4. 大学の取組
5. 都市の環境

1. エコシステム形成推進全体

<エコシステム形成の目標・KPI>

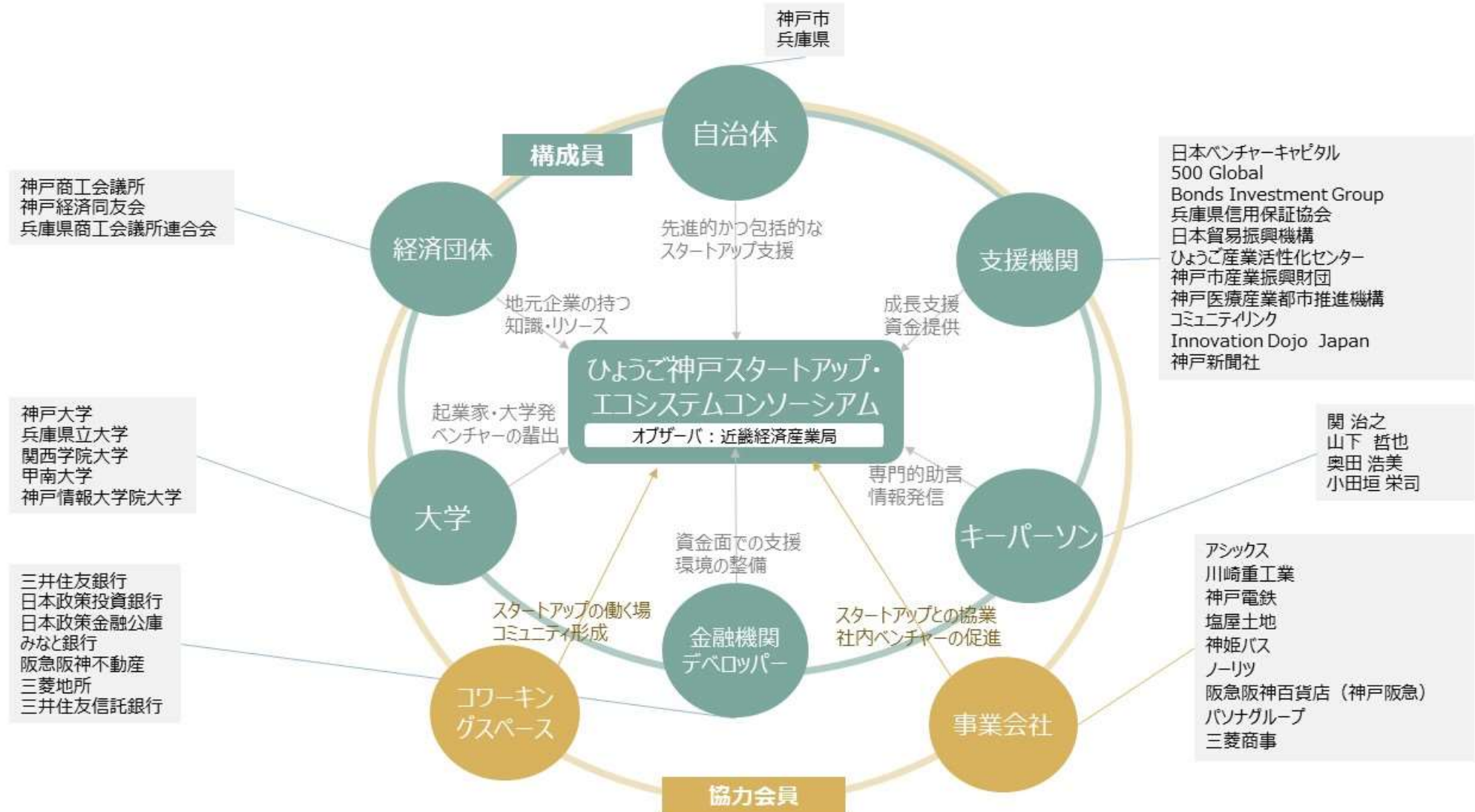
兵庫・神戸地域内から新たなビジネスを生み出しやすい環境を整えることで裾野を拡大するとともに、大学発スタートアップや海外起業家の取り込みを積極的に行うことで多様性のあるエコシステムを形成。
2024年までに地域のスタートアップを牽引するユニコーンの創出を目指す。

項目	目標 (2020年～2024年)	現在 (2022年3月)	申請時 (2015年～2019年)
域内スタートアップ° 設立数	<u>76</u>	<u>54</u>	2015～2019年 38
域内大学発ベンチャー設立数	<u>18</u> ※年度平均：3.6	<u>14</u>	2015～2018年度 7 ※年平均：1.8
域内スタートアップ° VISA認定件数	<u>15</u> ※現場見込3×5年	<u>4</u>	2019年4月～制度開始
域内ユニコーン（時価総額1,000億円以上）設立数	<u>1</u>	・ユニコーン設立数 0	・ユニコーン設立数 0
域内NEXTユニコーン（時価総額100億円以上）設立数	<u>2</u>	・域内NEXTユニコーン設立数 1 ・域内調達総額10億円以上スタートアップ設立数 <u>9</u>	・域内NEXTユニコーン設立数 2010～2019年 1 ・域内調達総額10億円以上スタートアップ設立数 2010～2019年 2

1. エコシステム形成推進全体

<エコシステム形成主体の構成組織と役割分担>

ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムを通じて構成員のリソースを集結し、世界に対抗できるエコシステム形成のための全方位的な取り組みを実施



1. エコシステム形成推進全体

<エコシステム全体の取り組み>

①エコシステムのあるべき姿を考えるワークショップ

- ▶ 大学・金融機関・支援団体等23団体が参加し、連携プロジェクトに向けて協議

②ひょうご神戸コンソ コワーキングDay

- ▶ 会員が親睦を深めるため、月に2回程度、仕事しながら自由に交流する日

③みんなで応援！チャレンジャー交流会

- ▶ スタートアップ等によるアイデアピッチを行い、コンソメンバーからフィードバックを得る会
- ▶ 大学生や資金調達済みのスタートアップなど様々な登壇者が参加

<第1回> 登壇者

- ①神戸市外国語大学 外国語学部生
- ②甲南大学 マネジメント創造学部生
- ③XR CITY
- ④グローリー株式会社
- ⑤Scheme Verge株式会社
- ⑥株式会社アプリズム

<第2回> 登壇者

- ①関西学院大学 法学部生
- ②株式会社Gab
- ③株式会社ブイック
- ④株式会社うちゅう
- ⑤スカイリンクテクノロジーズ株式会社
- ⑥株式会社ShimaFuji IEM
- ⑦株式会社T-ICU



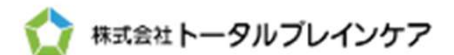
1. エコシステム形成推進全体

<エコシステム全体の取り組み>

J-Startup KANSAIに、**ひょうご神戸から 8 社選定**



ACALL



2. 自治体の取組

<成長支援>

①SDG s チャレンジ事業

- ▶ 兵庫県・神戸市による連携事業
- ▶ 世界規模のSDGs課題解決を目指すスタートアップ等に対し、アクセラレーションプログラム・メンタリング・ネットワーキングの提供を通じて事業開発・海外進出を支援

年間約**20社**の海外志向スタートアップを支援！



②Urban Innovation Kobe (UIK)

- ▶ スタートアップと職員による4か月の共同開発によるPoC支援、実証環境の提供
- ▶ スタートアップからの調達 **22件**（令和3年度末時点）
- ▶ Urban Innovation Japanとして全国**15**自治体に水平展開

